

登録コード	FSD16500	開講年度	2026			
授業題目	機械・ロボット学特別実験Ⅱ				担当教員	河村 隆 他
英文授業名	Advanced Experiments on Mechanical Engineering and Robotics Ⅱ				副担当	SHI JIAN
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実験	備考	機械・ロボット学分野 修士1年生
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】
	26FS初・繊維学					
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力				⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力
	【専攻】繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力				⇔	繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力
	【専攻】専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力				⇔	専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力				⇔	専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力
(2)授業の概要	担当教員から与えられた課題について実験を行い，データを取得し，解析を行い，考察を加えます．実験に際しては，実験装置の考案／デザイン／設計／製作も求められます．与えられたテーマを解決することのみならず，答えの与えられていない課題を解決するプロセスを経験し，解決のためのソフト的／ハード的な技術を身につけ，考察する能力を育成することが目的です．					
(3)授業計画	担当教員の指示により，研究テーマに関連する課題について，年間を通じて実験を行います．指定された課題に対する実験計画の策定，実験の実施，データ解析と考察，課題に関連する研究の調査とレビューを行い，課題の技術的意義を把握します．さらに，発展的な課題の導出について検討します．					
(4)成績評価の方法	実験に取り組む姿勢，実験計画の組み立て，実験実施方法，実験結果の解析，発展的にどのような実験が望まれるかの展望，などを総合的に評価して成績を判断します．					
(5)成績評価の基準						
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意	自立的／自律的／自主的／積極的に，調査／課題設定／計画／実験／解析／報告，のループを繰り返すことが求められます． 本授業で求められる実験等の実施状況が求められる水準に達しない場合には不合格になります． この科目が不合格になった場合にはその時点で留年が確定します．					
(8)質問,相談への対応	随時可能です．					
(9)授業の形式	上述の授業計画に記載の通り．					
(10)学生へのメッセージ	与えられた課題の周辺や，さらに発展して興味を抱いた事柄について積極的に追求し，実験を行って下さい．新しい発見が生まれる可能性を追求しましょう．そういうプロセスを経験することによって研究開発の姿勢を学ぶことが，この授業の究極の目的です．					
【教科書】	指定しません．					
【参考書】	指定しません．					